

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：北陸地方整備局道路部地域道路課  
担当課長名：岩田 英二

事業名	市道 あさひ荘苑・福増線	事業区分	地方道	事業主体	松任市
起終点	自：石川県松任市五歩市町 至：石川県松任市福増町	延長			1.3 km

## 事業概要

市道あさひ荘苑・福増線は、松任市五歩市町地先を起点とし、同市福増町地先に至る路線である。本事業は、地域高規格道路である金沢外環状道路（海側幹線）の一般部として、その一区間を担う延長約1.3 kmの4車線道路である。

## 事業の目的、必要性

市道あさひ荘苑・福増線は、金沢外環状道路が果たす金沢都市圏に発生集中する交通の分散・導入機能の一部を担うとともに金沢外環状道路の専用部である一般国道305号の各ICへアクセスする路線として、また、一般国道8号から松任市街地北部で開発の進む「いなほ工業団地」へのアクセスの向上を図るものである。

全体事業費	35 億円	計画交通量	17,000台/日
費用対効果分析結果	B/C : 4.0	総費用 : 31 億円 （事業費：30 億円 維持管理費：1 億円）	総便益 : 123 億円 （走行時間短縮便益：126 億円 走行費用減少便益：-2 億円 交通事故減少便益：-1 億円）
		基準年	平成15年

## 事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間及び削減率：430,955人・時間/年、5割削減）
- ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市「金沢市」へのアクセス向上）
- ・安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設「石川県済生会金沢病院」へのアクセス向上）
- ・他のプロジェクトとの関係（地域高規格道路金沢外環状道路「一般国道305号」との一体的整備）  
他4項目に該当（定量的評価項目を含む）

## 関係する地方公共団体等の意見

市道あさひ荘苑・福増線は、石川県が進める「県土ダブルラダー構想」を担う金沢外環状道路の一部であり、幹線道路の慢性的な交通渋滞の緩和等に重要な役割を果たすと期待されており、2市2町による金沢・松任外郭道路整備促進期成同盟会（昭和63年12月設立）より要望されている。

## 事業概要図

